

目標値設定理由確認シート

大分類コード	5-1-1	大分類名称	計画的な都市づくり
--------	-------	-------	-----------

指標名	地区計画の決定・変更地区総数							
指標の説明	地区計画の決定・変更を行うための事務手続き地区数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
5	6	6	6	6	6	8	9	
目標値	16	単位	地区	備考				
目標値設定の根拠								
<p>平成11年度:3地区、平成16年度:6地区(+3/5年)、平成21年度:9地区(+3/5年)。推移をみると、5年ごとに3地区増えているので、10年後では6地区増の15地区と予想。これに努力目標として1地区を加え7地区増の16地区とする。 ※素案では15地区となっているので審議会時に訂正説明。</p>								

指標名	バリアフリー化された市内鉄道駅の数							
指標の説明	バリアフリー化された駅数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
5	5	8	10	14	18	20	22	
目標値	35	単位	駅	備考	市内駅数:35駅 (平成22年3月31日現在)			
目標値設定の根拠								
<p>全駅バリアフリー化を目指す。 H22年度末の残駅数が8駅となる予定。1駅/年で整備すれば実現可能である。 H22年度末予定:27駅整備済み H22年度事業:完了済み=1駅(東葉高速線:飯山満駅) H22年度事業:年度末までに完了見込み=4駅 (京成線:船橋競馬場駅、新京成線:高根木戸駅・滝不動駅・三咲駅) ※素案では現状値が24駅となっている。この件は別途説明。</p>								

指標名	市の都市景観が良好に保たれていると感じる市民の割合							
指標の説明	市民意識調査							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
目標値		単位		備考				
目標値設定の根拠								
<p>目標値はH23年度に意識調査実施後、結果を見て決定。</p>								

指標名	まちづくりに関する説明会等に参加した市民数							
指標の説明	まちづくりに関する説明会等に参加した市民数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
-	-	-	-	-	86	236	232	
目標値	500	単位	人	備考				
目標値設定の根拠								
<p>現状の2倍増を目指す。</p> <p>---直近の現状値内訳---</p> <p>都市マス市民意見交換会 91名</p> <p>市民大学校 29名</p> <p>景観説明会 25名</p> <p>支援室(勉強会、町会・自治会) 87名</p> <p>-----</p> <p>計 232名</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	5-2-1	大分類名称	魅力あるベイエリアの創出
---------------	-------	--------------	--------------

指標名	海を活かしたまちづくり行動計画着手率
指標の説明	行動計画に記載されている各課対応事業について、前年度までの着手状況を調査し、進捗率(着手率)を算出している。

現状値(各年度のこれまでの実績)

14	15	16	17	18	19	20	21	22
		37.2	42.4	47.5	48.2	51.1	51.1	
目標値	100	単位	%	備考				

目標値設定の根拠

- 1 「海を活かしたまちづくり」行動計画には、長期にわたる事業もあることから、評価を事業の完了ではなく、着手をもって行うこととする。
- 2 「海を活かしたまちづくり」基本構想・基本計画は、総合計画の後期基本計画同様、平成32年度までの計画であることから、目標を100%とした。

目標値設定理由確認シート

大分類コード	5-3-1	大分類名称	人にやさしいみちづくり
---------------	-------	--------------	-------------

指標名	歩道整備事業の整備完了延長							
指標の説明	歩道整備事業に係る整備延長を集計する。							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
						24.222	25.000	
目標値	36	単位	km	備考				
目標値設定の根拠								
<p>過去の実績値を踏まえて想定。 平成21年度 歩道整備実績0.778km。 ~平成21年度=24.222+0.778=25.000km。 0.778×1.2 (努力目標値20%アップ) $\div 1$ km/年とした。 \therefore ~平成32年度=25.000km+1km/年\times11年=36.000km。 素案では35kmとしているので、審議会時に訂正説明。</p>								

指標名	駅周辺の放置自転車等の台数							
指標の説明	駅周辺に放置されている自転車等の台数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
			29,824	28,524	22,484	21,342	19,986	
目標値	10,000	単位	台	備考				
目標値設定の根拠								
<p>駅周辺の放置自転車の台数は年々減少している。例年4月時点で約10,000台分の空き募集をしていることから、放置している自転車が全て自転車等駐車場に登録をした場合を想定し目標値として設定した。</p>								

指標名	都市計画道路整備率							
指標の説明	都市計画道路の延べ延長に対する供用開始済み路線延長の割合							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
35.6	35.6	37.2	37.5	38.2	38.7	39.7	40.6	
目標値	45.0	単位	%	備考				
目標値設定の根拠								
<p>事業計画(H23~H32)の工程に基づき整備を進める事を目標とする。H32時点における新たな整備完了予定区間の延長はL=6,724m。現在の整備済み延長はL=50,874mであり、合計すると57,598mとなる。これにより都市計画道路の全延長L=128,180mに対する割合は44.9%となる。</p>								

指標名	交差点改良事業整備完了箇所							
指標の説明	交差点を整備・改良することにより、歩行者の安全、車両交通の円滑化、生活環境の向上を図る。							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
							22	
目標値	45	単位	箇所	備考				
目標値設定の根拠								
現状で改良が必要な交差点としている数が23箇所あるため、全て改良を行う事を目指す。そのうち、現在事業中7箇所、未着手16箇所。平成22年3月現在。								

指標名	交通事故発生件数							
指標の説明	交通事故発生件数のうち、人対車両の件数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
457	489	437	436	415	408	428	350	
目標値	240	単位	件/年	備考	平成12年412件 平成13年446件			
目標値設定の根拠								
事故発生件数は10年前に比べて、62件の減少になっている。よって10年間の平均減少件数は「 $62 \div 9 = 6.888 \dots$ 」となり、年間目標件数は7件。努力目標も含め、年12件の減少を目指すものとし×9年間＝108件→110件減少とする。								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	5-3-2	大分類名称	誰もが使いやすい都市交通の確立
---------------	-------	--------------	-----------------

指標名	交通不便地域対策実施地区数							
指標の説明	交通不便地域に対する対策を実施した地区数。(実証実験は含まない)							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
							0	
目標値	9	単位	地区	備考	船橋市地域公共交通総合連携計画における重点地区数:9地区			
目標値設定の根拠								
<p>船橋市地域公共交通総合連携計画において重点地区として位置付けている9地区全てについて、対策を実施し、不便地域の解消を目指す。</p>								

指標名	届出駐車場台数							
指標の説明	届出駐車場の台数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
						17,666	17,773	17,979
目標値	18,700	単位	台	備考				
目標値設定の根拠								
<p>近年の推移(大規模は対象から除く)をみると、150台/年程度である。廃止を加味し、100台/年×9年間=900台とし、数値を丸めて、18,700台を目標値として設定。</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	5-4-1	大分類名称	安らぎとにぎわいのある市街地の整備
---------------	-------	--------------	-------------------

指標名	船橋駅南口地区市街地再開発事業の着手地区数							
指標の説明	船橋駅南口地区市街地再開発事業(5街区)のうち、着手した件数。							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
1	0	0	0	0	0	0	0	
目標値	1	単位	地区	備考	全5地区 1地区(B街区)は平成15年3月に整備完了			
目標値設定の根拠								
JR船橋駅南口再開発事業については現在事業の進捗が停滞している所ではあるが、1地区は計画期間内に着手することを目指す。								

指標名	土地区画整理事業の整備完了面積							
指標の説明	市内の土地区画整理事業のうち、整備が完了した面積							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
							434.0	
目標値	466.1	単位	ha	備考				
目標値設定の根拠								
<p>●現状値について 市内完了433.2ha+飯山満地区土地区画整理事業の完了分0.8ha=434.0haとする。</p> <p>●目標値について 市内完了433.2ha+小室完了13.3ha+飯山満完了分19.6ha=466.1haとする。 小室については計画期間内に事業完了を目指す。 飯山満については、事業が停滞しているが、全体で21.4haのうち19.6haの完成を目指す。</p>								